

## インドマザーテレサボランティアとホームステイプログラム

### 参加期間

2012年 3月22日～ 3月31日 10日間

### 参加動機

何かのボランティアに参加したかった事と、インドは行った事のない国だったという理由で、インドのホームステイプログラムに参加させて頂きました。

### ホームステイ滞在に関して

家族構成	お母様、成人のお子様の2人住まい
ペット	無
食事	おいしかった（とっても食べやすいものとそうでないものがありました。）
生活形態（日本での生活と較べて異なる点、注意点など）	
<ul style="list-style-type: none"><li>・トイレで、紙を流してしまう習慣がなかなか取れなくて、何度か失敗していました。</li><li>・蚊がとにかく多いです。日中よりも、家の中で、キッチン、お風呂場・トイレ、寝ていてもものすごくかまれました。日中は噛まれた覚えがありません。インドの人に聞くと、オドモスという蚊よけクリームを薦められました。</li></ul>	
感想	
<p>私のお世話になった家族は何百人と日本人をホームステイとして受け入れている家庭でした。そのため、かなり慣れてらっしゃいました。私の場合、休みの日は出かけたり、観光したり、またボランティアのある日は一日ボランティアしたりしていたので、疲れて家に帰るとすぐに寝てしまっていました。そのため、家族とたくさんたくさん交流出来たかといえばそうではないかもしれません。ただ、ご飯を食べる時にはママが隣に座ってくれたりして、色々な話をしたりしました。それでも、もっともっと色々な話をしたかったなと思っています。</p> <p>コルカタに対しては、特に危ない思いや嫌な思いはしていません。ただ、腹が立った事は、カーリー寺院で、勝手に付いてきて説明をし始め、あ、これは後でお金せびられるなと思っていました。お堂に入ったところで子供を守る寄付金だといって、最低1500ルピーと請求。こちらが20ルピーを出しているにもかかわらず受け取らず、その時点でおかしいなと思っていましたが、やっぱり、その方たちは詐欺師でした。不確かな事はそのまま不確かです。確かめてから行動に！</p> <p>タクシーでもリクショーでも、運転手が場所を知っていると言ったので乗ったのに、場所を知らなかったり、道を間違えたりしたにもかかわらず、始めに言っていた値段に上乗せして、最後に請求してきます。でも、こっちが怒ってはじめに言っていた値段を払い離れると、運転手たちは帰って行きました。</p>	

### ボランティア活動に関して

シャンティダン（子供、精神障害者） ダヤダン（健常者、障害者）に行きました。

活動内容と感想（活動期間、回数、時間等も併せてご記入下さい。）

月→ダヤダン（1 Day Pass をもらって朝参加）→マザーハウス登録

火→ダヤダン（朝）

水→ダヤダン（朝）→シャンティダン（昼）

金→ダヤダン（朝）→シャンティダン（昼）

土→ダヤダン（朝）

・ダヤダンでは、朝から参加しました。朝は8時20分～8時30分の間にボランティアの皆がやってきます。朝は大体、屋上で洗濯物を取り込んだり畳んだり、新たな洗濯物もあるので、種類分け、汚れの酷いものは煮沸消毒で洗い、またそれらを全部足で踏み洗い、2度すすいで、絞り、干すという作業が主です。その後、子供たちと遊んだり、触れ合ったりという時間があり、その後、子供たちを食事する部屋へ移動させ、ご飯を食べさせてあげます。一人のボランティアが子供一人について食事の介助、終わったらベッドへ寝かせ、おむつが濡れていたなら新しく変えてあげます。ボランティアが少ない時は、一人終わったら次の一人という感じです。その作業が終わると大体1時半か12時過ぎの間になります。

・シャンティダンでは、昼から参加しました。時間を間違えていたので、2日とも3時～5時で参加しました。特に決まったルーティーンはなく、庭に出てきている女の子たちと触れ合ったり、また、車椅子にペイントしたりという活動でした。

ホームステイ先からボランティア施設までの交通手段は？

・BD BusStopで215Aのバスに乗り、30分以内でジョラバガンに着きます。そこから5分くらい歩いてダヤダンに着きます。

・マザーハウスから15分くらい歩いたところにあるバス乗り場で、166のバスに乗り、ボイシヤリで降り、（ピンクの橋みたいなものを通り抜けて、左にスパイダーマンが見えたら、バスを降りる）そこから10分くらい歩くとシャンティダンに着きます。ただ、シャンティダンは、扉などに名称が書かれていなくて、ただの緑の扉なので、気をつけないと通りすぎてしまいます。2回行きましたが、どちらも一人で行ったので、本当に迷いました。発音が違うからかもしれませんが、バスを降りて「シャンティダン」と地元の方に伝えても、地元民でも知らない人はたくさんいました。誰か知っている方と一緒にいった方が良いです。でも、私が行っている時期は、特に午後は私を含めて2、3人ほどのボランティアで誰も一緒に行く方がいませんでした。サダルストリートからもかなり遠い事もあり、人気がない様です。

### Cultural activities に関して

\*受講された項目のお値段、感想をお聞かせ下さい。

英会話レッスン

ベンガル語レッスン

YOGA

Indian Cooking

## Bollywood Movie

200ルピーでした。でも、日本と変わらない映画館で、インドでもすごく高い映画館らしいです。

## 持ち物に関して

日本より用意し、役に立ったものは？

・電池式のベープで蚊を退治。家の中ではどこへでも一緒に持ち歩きました。

その他、便利だと思うものは？

・蚊帳（私の場合は借りました。）

・ビーチサンダルの様な、足の親指と人差し指の間にあるものは、とにかくたくさん歩いたりするので、すぐに靴擦れします。現地でも売っていますが、鼻緒のないサンダルはあまりなく、探さないとなかったです。私はニューマーケットで100ルピーのペラペラのサンダルを買いました。

・日傘か雨傘を日よけで使う。

・タオル類を多めに持って行く。（夜暑くて、いつも汗びっちょりでしたので、ベットの上にタオルでも敷いてから毎日寝れば、毎夜、きれいなベットで寝られるかなと思います。また日中もハンドタオルなども毎日使いますので、多めに持って行くのが良いかもしれません。

・かかとすり・かるいし（毎日足の裏が真っ黒になります。お湯をかけたくらいでとれません。軽石でごしごしと削らないと。。。笑）

・お菓子・軽く食べられるもの（インドのごはんはレストランで食べても、露店で食べても、家でも、多いと感じたことはありません。量がとても少ないです。私は常におなかをすかせていました。）

・ボランティア施設で洗濯する際など、ラテックスの手袋などあれば手がふやけず良いかも。

## コルカタ市に関して

お勧めの観光スポット、お店、レストラン等があればお知らせ下さい。

すべてサダルストリートの付近でしか食べていません。ボランティアの方も一人残らず、サダルに行きます。ほとんどの方がサダルの近くのホテルでステイしているからです。

・JOJO cafe のチキンラップおいしかったです。ただ量は少ないです。

・郵便局の前にあるサンドウィッチ屋さん（約60ルピー）いい感じの焼きトースト！

・コルカタの町の中には、車でない方がゆっくり写真も撮れて良い場合が多いかと思えます。場所によって、ここでは車を止められない、駐車料金かかる、、、などがあります。

反対にお勧めできない場所等があればその理由もお知らせ下さい。

## コルカタ以外の街を訪れた方は下記の質問にお答えください。

どちらに行かれましたか？

交通手段、かかった時間、費用は？
感想

### ご参加頂いた時期に関して

気候、お天気はどうでしたか？
毎日、晴天でとても暑かったです。
服装は？
3月下旬はもう夏でした。半袖です。暑さで頭くらくらししました。

### インドの物価に関して

ご参加時のレートは？	1ルピー＝約（ 1,6）円
何か購入されたものがあれば参考までお知らせ下さい。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミネラルウォーター1L（15ルピー）</li> <li>・モンゴリアン ライス（26ルピー）</li> <li>・マザーテレサ付近～ソルトレイクの TAXI（240ルピー）</li> <li>・CITY CENTER などのショッピングモールはとっても物価が高いです。もっと露店の店を探して、良いものがなかったら、、、ってした方がかしこいです。NEW MARKET とかに行きがちだと思いますが、その辺りの露店もちよひ高いです。もっと離れたところのマーケットに行った方が格段に安く手に入れます。私はサリーを800ルピーくらいで購入して失敗しました。</li> <li>・スナック（5～10ルピー）</li> <li>・サリーの下に着るパンツを作る生地（150ルピー）</li> <li>・ワンピース（150ルピー）</li> <li>・封筒5枚（37ルピー）など、、、</li> </ul>	

### 予防接種に関して

渡航にあたり予防接種を受けましたか？	いいえ
はいの方、その種類をお知らせ下さい。	

その他、今後の参加者に何かアドバイスがあればご記入下さい。又、ご自身がインドで撮られた写真など、お貼り頂き、写真の説明文も加えて下さい。

ボランティアでびっくりする事もあるかと思えます。私は、ダヤダンで働いているインド女性たちの子供たちの扱いの粗さにびっくりしてしまいました。他の国の方も少しびっくりされていたので、私の感覚がかなりずれているわけではないと思えます。でも、愛のある粗さだと思っています。あつかましいインド人ですが、やさしいインド人もたくさんいます。変な先入観を持ってインドに行って批判する様な態度は適切ではないと思えます。確かにつつこみどころ満載のインドです。私は逆におもしろい国だな～と思って帰国し、また行きたいと思っています。

マザーハウス関係のボランティア施設は、登録時にどこの施設へ行きたいかを決めますが、責任を持って参加する事が大切である事は基本ですが、実際、体調、自分の予定などを尊重して自由に休んでよいという所が本当に心の広いボランティア場所だと思いました。

ホームステイでは色々なアクティビティをそのホームステイ家族がやってくれるというものでしたので、なんとなく私は気乗りしませんでした。アクティビティなしでも、十分ボランティア先で、色々な国の方と話したり、色々な定員や運転手と話したり、自分でも買い物に行ったりして、楽しく過ごせました。初日にお土産を渡しましたが、最終日も私は、自分が持って行った日本の食糧全部とさらにもう一つ日本からのお土産を渡しました。シャンプー類なども置いてきました。ホストファミリーからもプレゼントで花瓶とピアスを頂きました。

カルパナさんのおうちには、娘が二人います、今は下の娘と一緒に住んでいます。彼女ももうすぐ結婚します。上のお姉ちゃんの方は結婚し、子供がいて、よくおうちにやってきます。私もよく遊びました。折り紙やステッカーなど持っていったので、喜んでいました。事前に小さい子がいると分かっていたら、もっと子供用のお土産を持って行けたのになぁと思っています。それに、皆、梅干しが好きと言っていました。それならもっとたくさん梅干しを持って行けたな～とも思っています。もう少し、ホストファミリーのそういった情報をステイする人には事前に教えてあげても良いのかもと思えます。

私が行った時は他に来ている方がおらず、私一人での市内観光でした。少しさみしいと思いましたがカロールさんが私一人に対してもちゃんと案内をして下さいました。カロールさん、とても親切な良い方でした。ちゃんとお別れのあいさつが出来なかったのが、それが少し残念です。



ダヤダンでの洗濯！握力との勝負！

最後に、あなたのことをお知らせ下さい。

お名前(イニシャル、ニックネーム可)	あや	女性
年齢	20代	